

## 会 議 録 (要 旨)

会 議 名	武蔵村山市交通安全対策審議会(第2回)
開 催 日 時	令和3年7月27日(火)
開 催 場 所	書面開催
出 席 者 及 び 欠 席 者	出席者：市川進委員、内野治樹委員、高山晃一委員、若山剛委員 牧一彦委員 島田治委員、永瀬健一委員、平井通善委員、 須藤健一委員 宮田淳一委員
議 題 等	<p>1 開 会 新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、書面での開催とした</p> <p>2 議 題 議題1：武蔵村山市第八次交通安全対策審議会(素案)について 議題2：その他</p> <p>【配布資料】 資料1 武蔵村山市第八次交通安全計画(素案) 資料2 武蔵村山市第八次交通安全計画(案)からの主な修正内容 資料3 武蔵村山市第八次交通安全計画(案) 資料4 第11次東京都交通安全計画 資料5 意見の提出方法及び意見書様式 資料6 今後の計画スケジュール</p>
結 論 (決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。)	<p>議題1：武蔵村山市第八次交通安全対策審議会(素案)について 委員の審議内容を素案に反映することとした。</p> <p>議題2：その他について (1) 素案の意見公募を、9月6日から10月5日までの間実施することとした。 (2) 委員の交代に伴い、高山晃一委員、永瀬健一委員、宮田淳一委員が新たに就任した。 (3) 次回開催日については事務局から改めて委員に通知することとなった</p>
審 議 経 過 (主な意見等を原則として発言順に記載し、同一内容は一つにまとめる。) ●=委員 ○=事務局等	<p>1 開 会 —新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言を受け、書面での開催—</p> <p>2 議 題 (1) 武蔵村山市第八次交通安全対策審議会(素案)について</p> <p>—質疑・意見等—</p> <p>● 幼児教育保育施設における交通安全教育に「幼児教育・保育施設の施設長は、円周辺の道路、交通事情を把握したうえで、園外保育計画を立案、引率をする際、安全配慮に万全を期することができるよう、職員への交通安全教育の指導に努めると同時に、園外保育コース等で危険箇所や気になる箇所がある時には、関係機関に改善を図ること。」の項目追加または加筆してはどうか。</p> <p>○ 幼児教育・保育施設の施設長が行う職員への指導等については、施設の体面や施策であるため、市の交通安全計画という性質上記載については見送ることとしたい。 また、危険箇所把握等については、「第2部・講じようとする施策」の「通学路等における交通安全の確保」に集約している。 しかしこの表記では通学路のみがピックアップされていると誤解を生むため、「子供が利用する道路における交通安全の確保」に記載を変更したい。</p> <p>● 「交通安全に関する広報啓発活動の充実・強化」に「幼児教育・保育</p>

施設を利用する保護者に対する交通安全意識の啓発」として、「荷物をハンドルに掛けて自転車での送迎、チャイルドシート不使用の車両等、事故の誘発や危険性について、保護者への交通安全意識の啓発活動ができるように努める。」という記載を入れてはどうか。

- 意見を素案に反映し、「第2部・講じようとする施策」に「家庭・保護者に対する交通安全意識の広報・啓発」の新設及びチャイルドシート不使用における危険性の文章を追加する。
- 自転車の危険行為について「・乳幼児を自転車に乗せる際には、チャイルドシートを使用しなければならない。・前席の対象年齢3歳(15kg以下)までで、4歳になると前席に子に乗せることはできなくなる。」このことを遵守しない場合、危険行為にあたることを明記してはどうか。
- 自転車運転者講習制度の危険行為は、定められた15類型に該当する交通違反であり、乗車方法に関する違反のみでは、自転車運転者講習制度上の危険行為には該当しないため、記載は見送ることとしたい。
- 交通事故発生件数・死傷者数のグラフについて平成28年、平成29年、平成30年と徐々に増加傾向にある交通事故発生件数・死傷者数が令和元年に急減している原因について考えられる要素や、令和2年度は再び増加に転じている原因を分析し・考察し、武蔵村山市なりの考えを示すことが大切なのではないかと考える。

その減少に関わって特段の施策があったとしたら、今後の事故の減少に向けての対策のヒントがそこにあると考える。

しかしもし、この減少と増加が、統計誤差の範囲内であるというならばグラフの目盛りを変更し、増減が目立たないように表記すべきではないかと考える。
- 事故の増減については、一つの市における数値としては誤差といえるかは一概に言えないが、平成30年と令和元年の差は大きいと考えられる。

増加要素としては一つの要素として、大型商業施設等の利用者増加に伴う車両交通量増加が原因として考えられる。

令和元年の減少理由については、高齢運転者に対する臨時認知機能検査の創設や携帯電話使用違反の厳罰化等の法律改正などの効果も考えられる。

また減少した要因には令和元年度の施策のみならず、過去の積み重ねた対策の結果が現れてきたものであると考えられる。

増減理由については、その年の交通事情・対策については、一概に言えず、不明確要素が多いことから具体的な記載はしないが増減の事実や各種施策の実施等については、新たに記載を追加したい。

また令和2年の原因が、コロナウイルス感染症から、特に自転車利用者は多くなり、自転車事故の件数増加を引き起こしていると強く考えられるためこの点は素案に反映したい。

## (2) その他

- 意見公募は、9月6日(月)から10月5日(火)の期間実施する。
- 異議なし。
- 前回から本会議までの間に、武蔵村山市私立幼稚園連絡協議会代表委員として芦川征史委員から高山晃一委員へ、武蔵村山市公立学校PTA連合会代表として岩瀬成朋委員から永瀬健一員へ、東京都北多摩北部建設事務所補修課長として杉山和穂委員から宮田淳一委員へそれぞれ交代し、本審議会委員に就任がなされた。
- 異議なし。
- 次回の会議開催日については、事務局から改めて通知する
- 異議なし。

<p>会議の公開・ 非公開の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 公開  <input type="checkbox"/> 一部公開  <input type="checkbox"/> 非公開  ※一部公開又は非公開とした理由  [ ]</p> <p style="text-align: right;">傍聴者： <u>  0  </u>人</p>
<p>会議録の開示・ 非開示の別</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 開示  <input type="checkbox"/> 一部開示(根拠法令等： )  <input type="checkbox"/> 非開示(根拠法令等： )</p>
<p>庶務担当課</p>	<p>総務部 防災安全課(内線： 3 3 2)</p>